

大学生による設計コンペ作品発表会

対 象 エ リ ア	福井市日新地区
日 時	平成23年11月12日（土） 13:00～15:00
開 催 場 所	日新公民館
対 象 者	日新地区の住民
主 催	福井県
協 力	日新公民館 日新地区まちづくりメンバー 福井工業大学建築学科 福井工業大学デザイン学科
発 表 者	福井工業大学建築学科学生 9名
ね ら い	学生が中間領域についての提案を住民にすることで、家族とのつながり、地域とのつながりなど、これからの住まい方について考えてもらうきっかけにしよう。
テ ー マ	「魅力ある内外の境界領域のある家」 内外の境界領域とは、日本建築における縁側や土庇などが代表的なものとして挙げられ、建物の内（室内）と外（庭）を結ぶ中間の領域のこと。伝統的な住宅においては、この空間に藪戸、障子、簾などをしつらえて、季節に合わせた心地よい住空間を演出している。
プ ロ グ ラ ム	1. 学生による設計コンペ発表 建築学科の学生9名が、テーマに基づく提案を発表する。 2. 質疑応答 提案内容について、住民と意見交換等を行う。
準 備 物	・プロジェクター ・スクリーン など



日新地区で残していくべき住環境を考える参考とするため、住民の方々は学生の提案にじっくりと耳を傾けた。



適宜、福井工業大学の担当教官から講評をいただきながら、学生と住民の方々と意見交換を行った。



提案作品

「意・心・伝・親・の家」



提案作品

「内庭で繋がる家族」

「まちの縁側」



提案作品

「有明」

「つながる「穴」」

「繋がりのある家」



提案作品

「光と水と人と」

「壁のない家」

「壁でつくる境界」